

Ladder

平成25年2月21日 第23号
北海道教育庁学校教育局参事
(生徒指導・学校安全)

中1ギャップ・高1クライシスを解消するために

生徒指導にかかわる引き継ぎについて②

「児童生徒に関する情報の引き継ぎ」にかかわる改善策の例の一つに、児童生徒個人に関する記録を作成し、引き継ぎを確実に行うことが挙げられています。

今回は、道教委が実施する「中1ギャップ問題未然防止事業」の指定校の実践を参考に、小学校から中学校への引き継ぎシートを例にとって資料を作成しましたので活用してください。

小学校から中学校への引き継ぎシートの工夫

【実践例1】

No.		学級		小学校		氏名		性別	
国語		数学		合計		順位		少年団	
リーダー		ピアノ		運動		長欠傾向		PTA役員	
健康面の留意事項									
その他の留意事項									

【実践例2】

(ふりがな)					
児童氏名				男女	
生年月日	平成	年	月	日生	
学習の状況					
健康に関する状況					
生活・行動面の様子					
性格(リーダー性)					
運動能力					
家庭環境					
出席状況		第4学年	第5学年	第6学年	計
	欠席				
	遅刻				
	早退				
別室登校					
その他参考になる事柄					

不登校傾向の把握に当たっては、欠席は少ないが遅刻や早退の日数が多い児童も「不登校相当」として記入することも考えられます。

小学校においていじめたりいじめられたりした経験のある児童については、これらの欄にその情報をより具体的に記入することも考えられます。

- 小・中学校の引き継ぎを円滑に進めるためには、定期的に授業参観や意見交換・協議を行うなど、交流や情報交換に努めることが大切です。
- その際、引き継ぎの内容が進学後の指導に活かされているかどうかについても交流し、引き継ぎシートの改善に反映させることも考えられます。

<http://www.dokyojoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/krk/ijime.htm>

「Ladder」は学校間の接続を図る「はしご」を意味しています。